

ギニア月報（2026年6月）

主な出来事

【内政】

- 5 日、選挙管理総局（DGE）が国民議会及び地方議会選挙の暫定結果を発表。
- 12 日、野党 7 政党が、国民議会及び地方議会選挙の暫定結果に異議申し立て。
- 17 日、最高裁判所は国民議会選挙の最終結果を発表し、近代化と発展のための世代（GMD）運動と連合政党が 147 議席中 127 議席を獲得。投票率は、53.84%。
- 26 日、ECOWAS 司法裁判所は、反政権活動家で MoDeL 党首のアリウ・バー氏とギニア共和国との訴訟に関し、バー氏の複数の基本的人権が侵害されたと判断し、即時釈放を命じた。

【外交】

- 2 日、大統領令により、アブバカル・シディキ・カマラ国防大臣が駐フランス大使に、バシール・ディアロ元治安・市民保護大臣が駐コートジボワール大使に任命。
- 6 日、ギニアが 2027 年から 2029 年の任期で国連経済社会理事会の理事国に選出。
- 23 日、夏期ダボス会議に出席するために訪中したバー首相が、李強国务院総理と会談を実施。

【経済（開発協力含む）】

- 4 日、SimFer はシマンドゥ・鉄鉱山プロジェクトの進捗状況に関し、インフラ設備等を含む鉱山の完成度は 74%、港湾設備については 78%に達していると発表。
- 16 日、ドゥンブヤ大統領は、中国輸出入銀行から提供された約 5400 万ドルの譲許的融資を活用し、監視カメラの導入等を含む「ギニア・セーフ・シティ」プロジェクトの実施を承認。
- 16 日、令和 7 年度補正予算による「ギニアの洪水・感染症流行が引き起こす人道的状況下における遠隔医療システムを活用した母子保健サービスへのアクセス向上とジェンダーに基づく暴力（GBV）の対策強化」（UNFPA 連携）の開始式典実施。
- 17 日、ドゥンブヤ大統領は 3 つの小規模水力発電所の建設費用の一部を賄うため、ECOWAS 投資開発銀行から提供される 9,516 万ユーロの融資を承認する法律に署名。
- 21 日、ドゥンブヤ大統領は、ギニアで採掘された未精製金の輸出を完全に禁止し、国内での精錬を義務付けると発表。

1 内政

- ・ 2 日、5 月 31 日に実施された国民議会及び地方議会選挙に関し、アフリカ連合（AU）、西アフリカ諸国経済共同体（ECOWAS）、国際フランコフォニー機構（OIF）が共同声明を発出。
- ・ 5 日、選挙管理総局（DGE）が国民議会及び地方議会選挙の暫定結果を発表。
国民議会：投票率 52.87%、有効投票者数：3,448,994 人
地方議会：投票率 58.51%、有効投票者数：3,568,658 人
- ・ 12 日、野党 7 政党が、国民議会及び地方議会選挙の暫定結果に異議申し立て。
- ・ 17 日、最高裁判所は国民議会選挙の最終結果を発表し、近代化と発展のための世代（GMD）運動と連合政党が 147 議席中 127 議席を獲得。投票率は、53.84%。
- ・ 26 日、ECOWAS 司法裁判所は、反政権活動家で MoDeL 党首のアリウ・バー氏とギニア共和国との訴訟に関し、バー氏の複数の基本的人権が侵害されたと判断し、即時釈放を命じた。

2 外交

- ・ 2 日、大統領令により、アブバカル・シディキ・カマラ国防大臣が駐フランス大使に、バシール・ディアロ元治安・市民保護大臣が駐コートジボワール大使に任命。
- ・ 6 日、ギニアが 2027 年から 2029 年の任期で国連経済社会理事会の理事国に選出。
- ・ 13 日、クヤテ外務・アフリカ統合・在外自国民大臣は、ジャン・ピエール・ラクロワ国連副事務総長と会談を実施。
- ・ 15 日、ドゥンブヤ大統領は、ジャン・ピエール・ラクロワ国連副事務総長と会談を実施。
- ・ 23 日、夏期ダボス会議に出席するために訪中したバー首相が、李強国务院総理と会談を実施。

3 経済（経済協力含む）

- ・ 4 日、SimFer はシマンドウ・鉄鉱山プロジェクトの進捗状況に関し、インフラ設備等を含む鉱山の完成度は 74%、港湾設備については 78%に達していると発表。
- ・ 5 日、国家開発計画「シマンドウ 2040」の農業に関するプロジェクト及び改革の公式開始式典を開催。同分野には 180 億ドル以上の投資を予定。
- ・ 8 日、大統領令により、国立行政学校（ENA）の設立を決定。
- ・ 10 日、バー首相は計画・国際協力・開発省が UNICEF と連携して実施する研

修プログラム「ELITE（制度変革と卓越性に向けた評価リーダーシップ）」（5日間）の開始式に出席。

- ・ 14日、ディアロ環境・持続可能な開発大臣は、零細金採掘におけるショベルカーの使用禁止令に反したとして、シギリ県の管理職及び職員139名を停職処分とした。
- ・ 16日、ドゥンブヤ大統領は、中国輸出入銀行から提供された約5400万ドルの譲許的融資を活用し、監視カメラの導入等を含む「ギニア・セーフ・シティ」プロジェクトの実施を承認。
- ・ 16日、令和7年度補正予算による「ギニアの洪水・感染症流行が引き起こす人道的状況下における遠隔医療システムを活用した母子保健サービスへのアクセス向上とジェンダーに基づく暴力（GBV）の対策強化」（UNFPA連携）の開始式典実施。
- ・ 16日、バー首相は、当地訪問中のンジャイ氏率いる国際通貨基金（IMF）の代表団と会談。
- ・ 17日、ドゥンブヤ大統領は3つの小規模水力発電所の建設費用の一部を賄うため、ECOWAS投資開発銀行から提供される9,516万ユーロの融資を承認する法律に署名。
- ・ 18日、ナベ計画・国際協力・開発大臣は、バクーで開催されたイスラム開発銀行の総会に出席。
- ・ 21日、ドゥンブヤ大統領は、ギニアで採掘された未精製金の輸出を完全に禁止し、国内での精錬を義務付けると発表。
- ・ 25日、世界銀行グループは、ギニア向けの新たな「国別パートナーシップ枠組み（CPF）2027-2033」を承認。
- ・ 29日、畜産省は、家禽産業の発展に向けた国家戦略を発表。

（了）